

『News Letter 新名神 Vol.2』発行にあたって

私ども工事事務所は、今年1月13日これまで約20年間お世話になった神戸市須磨区から川西市へ事務所移転いたしました。そしてこれを機に名称も神戸工事事務所から新たに新名神事業の兵庫県域を統括する事務所として「兵庫工事事務所」と改名いたしました。そして、1月27日には兵庫県及び沿線市町等の関係者をお招きし手作りの開所式を執り行いました。開所式では会社としての努力目標として2年前倒しの平成28年度を目指し事業を進めていくこと、そしてそのために関係者の連携強化を誓い合いました。

移転先の川西市は人口約16万人で、プロ野球ヤクルトで活躍された古田選手などの出身地でもあります。古くは第56代清和天皇の後裔源満仲が源氏武士団を形成し、後に鎌倉幕府を開く源頼朝など清和源氏の本拠地となった地でもあります。

今回の事務所移転が単に事務所移転に留まることなく、新たに川西のこの地から、新名神建設事業に一層の拍車をかけていくために、新名神事業の意義を広く社会にアピールしていきながら、早期開通に向け着実かつ精力的に事業を推進してまいりますのでご協力のほどよろしくお願いいたします。

現在、担当する新名神事業は開通時の道路構造形態に関する地元の皆様との暫定4車線設計協議及び用地買収を展開しており、用地取得率は16%に達しております。工事につきましては、昨年末本区間として初の本線工事として川下川橋工事を発注することができました。

平成21年度には用地取得を概成させ、その後円滑に全線に渡って本格的に工事着手できるように事務所一丸となって事業を進めてまいりますので、兵庫工事事務所をよろしくお願いいたします。



NEXCO 西日本高速道路(株) 関西支社 兵庫工事事務所 所長 小笹 浩司

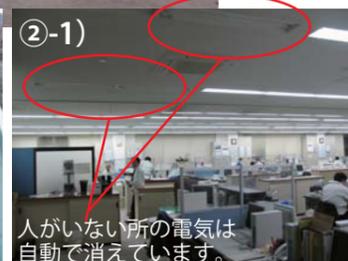
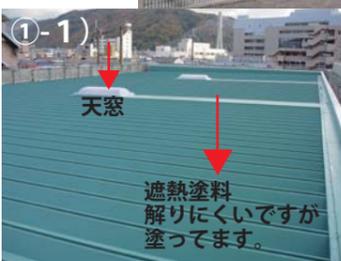
【事業進捗状況】

市町名	神戸市 北区					宝塚市			川辺郡 猪名川町			川西市		
	八多町 中	有野町 二郎	道場町			玉瀬	武田尾	切畑	猪瀬	広根	上野	石道	西畦野	東畦野
地区名		平田	塩田	生野										
地元協議 (完成6車線)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	(○)	(○)	(○)
地元協議 (暫定4車線)	—	△	△	△		○	○	○						
幅杭設置	○	△	△	—	△	△	—	○	△	△	○	○	○	△
用地調査	○	△	△	—	△	△	—	△	△	△	△	△	○	△
用地契約	○	△	△	—	△	△	—					△		

凡例： ○ ⇒ 完了、△ ⇒ 実施中、空白 ⇒ 未着手、赤字 ⇒ 前号より推進した項目 (○) は確認書の締結が未了

【兵庫工事事務所の『エコオフィス』推進計画】

右の【神戸工事事務所の歴史】にも掲載しておりますが、神戸工事事務所は移転し、名称を兵庫工事事務所に変更しました。兵庫工事事務所は「エコ」に取り組んだ事務所になっています。今回は、取り組んでいる「エコ」の一例を紹介いたします。



①事務所の外

1) 遮熱塗料の採用

事務所の屋根に遮熱塗料を使用しました。これを使用することによって遮熱性大幅アップ！

②事務所の内

1) 人感知センサーによる点灯・消灯の自動化

事務室の照明は人感知センサーによって点灯・消灯を自動に行います。これでオフィス内の無駄をカット！

2) 省エネ蛍光灯の採用

事務室の照明は自然の光を感知して、自動で適度な照度に調整します。最近の技術ってすごいですねー。

③立地条件

1) 駅前建設

兵庫工事事務所は阪急、JRの駅近くに立地しています。駐車場も必要最小限にして社員の通勤は原則公共交通機関を使用としています。

この他にも、天窓、窓への遮熱フィルム、雨水の有効利用等、色々エコに取り組んでいます。

シリーズ 新名神キーマンインタビュー (第2回)

～神戸市 建設局 道路部 計画課

末永 清冬 課長を訪ねました～



Q1. まずは、新名神沿線神戸市北区の特徴や歴史などの紹介をお願い致します。

A1. 北区は、緑が非常に多く自然環境に恵まれており、「しあわせの村」「フルーツフラワーパーク」「森林植物園」などが整備され、緑と人間のふれあいの場・都市と農村の交流の場づくりが進められております。また、神戸リサーチパークなどの住宅地域もあり、住宅地域と農村地域が共存するまちとなっております。さらに、中国自動車道・山陽自動車道に加え、新名神も整備されることで、

「神戸の北の玄関口」としての発展も期待されております。新名神沿線地域については、豊かな自然と美しい田園風景を背景に古い歴史を持つ「大歳神社」・「塩田八幡宮」等の文化財や北条時頼ゆかりの鎌倉峡の百丈岩など多くの名所が存在しておりますので、新名神の整備にあたっては、このような特徴や環境に配慮をお願いいたします。

Q2. 新名神高槻～神戸間の整備により神戸JCTで新名神が山陽道と直結することとなりますが、交通の新たな流れの変化に伴い神戸市の産業経済活動にどのようなインパクトを与えるとお考えですか。

A2. 現在、中国自動車道にて慢性的な渋滞が発生していることから、渋滞が緩和し、定時性の確保等に大きな効果を期待しています。また、阪神・淡路大震災を受けた自治体としては、新名神と中国道のダブルネットワークとなることにより、地震や大規模な事故等の緊急時にも大きな効果を発揮してくれるものと期待しております。

新名神の位置には、昭和30年代から神戸と京都を結ぶ「洛神道路」の構想があり、元神戸市長の原口忠次郎氏の「夢の架け橋構想」とともに神戸港のヒンターランドの拡大に必要な路線と考えられていました。その構想されていた道路が整備されることによって、神戸市が進めている医療産業都市構想などのプロジェクトの発展や神戸空港・神戸港のヒンターランド拡大など、広域道路ネットワークとして貢献して



【写真】左：末永課長 右：インタビュアー NEXCO兵庫(工)三枝

れるものと考えております。(※ヒンターランド：後背地。すなわち、港湾の輸入貨物を消費する地域でのことである。)

Q3. 最後に神戸市の発展に向けて新名神の整備に寄せる期待をお聞かせください。

A3. 新名神開通区間(大津～亀山)を見ると、渋滞緩和・観光客の増加等の整備効果が顕著に表れております。神戸市においても同様の整備効果が出ることを期待しております。一方で、大津～亀山間が先に供用したことにより、関西圏から中京圏へ物流が流れてしまうのではないかと懸念もしております。一部未着工区間もありますので、関西圏・神戸市の発展のためにも、早期の全線供用を期待しております。



【写真左から】神戸市道路部計画課 森さん、中川広域幹線係長、末永課長、麻田さん

【神戸工事事務所の歴史】

このたび、平成21年1月13日をもちまして、神戸市須磨区にありました事務所から、兵庫県川西市に新築した事務所へ移転することになりました。移転するに伴い、事務所名称も神戸工事事務所から兵庫工事事務所へ名称変更しております。約20年お世話になった事務所の歴史と事務所に関係する高速道路事業を振り返ってみます。

昭和60年2月26日	山陽自動車道(神戸～三木)実施計画認可	平成11年12月16日	春日JCT・IC工事等に関する協定締結
昭和60年7月1日	神戸工事事務所を神戸市中央区に設置	平成13年2月7日	西山口JCT工事等に関する協定締結
昭和63年3月8日	山陽自動車道(三木～姫路)実施計画認可	平成15年4月28日	西山口JCT開通
昭和63年4月11日	神戸工事事務所が神戸市須磨区に移転	平成17年4月17日	春日JCT開通
平成2年7月1日	中国自動車道 6車線拡幅全線開通	平成17年10月1日	西日本高速道路株式会社設立
平成5年7月1日	西神戸工事事務所を神戸市西区に設置	平成18年3月31日	新名神高速道路(箕面～神戸)機構との協定締結
平成5年10月27日	山陽自動車道(三木～木見)実施計画認可	平成21年1月13日	事務所が神戸市須磨区から川西市へ移転
平成8年11月14日	山陽自動車道(神戸JCT～三木小野IC)開通	平成21年1月13日	神戸工事事務所から兵庫工事事務所へ名称変更
平成9年1月31日	神戸工事事務所閉鎖		
平成9年3月3日	西神戸工事事務所が神戸市須磨区に移転		
平成9年12月10日	山陽自動車道全線開通		
平成10年4月5日	第二神明道路北線・山陽道(三木～神戸西)開通		
平成11年1月8日	新名神高速道路(箕面～神戸)実施計画認可		
平成11年7月1日	西神戸工事事務所から神戸工事事務所へ名称変更		

神戸市須磨区の使用した期間 昭和63年4月11日～平成21年1月13日 (20年と277日)



旧神戸工事事務所 平成20年12月10日撮影